

中高生対象に企業訪問学習の受け入れ実施

11人が参加、VR体験やグループワークも

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は6月4、10日の両日、昨年に続いて中高生を対象とした「キャリア教育推進のための企業訪問学習」の受け入れを実施した。

「企業訪問学習」とは、文部科学省のキャリア教育推進の一環として推奨されている取り組みで、全国の中学生や高校生が社会を支える多様な職業について学び、自らのキャリアを考えるきっかけを得ることを目的としている。同社はこの学習プログラムの意義に賛同し、民間コーディネートミューズを通じ、昨年は合計3校・18人の中高生に学習機会を提供した。

今年は2校の中学校から11人の生徒が参加。物流倉庫業に期待される社会的な役割を伝えるだけでなく、倉庫の現場を身近に感じてもらうため、採用活動でも使用するVRでの倉庫見学を体験してもらった。ま

た、働くうえで大切なことや楽しさなど、これからのキャリア選択や将来を考えるきっかけにってもらうためのグループワークも実施した。

ダイワコーポレーションでは、「これからの未来を担う若い人たちのキャリア教育へのさらなる貢献と、物流業界全体の認知向上につながる取り組みとして、今後も中高生向け企業訪問学習の受け入れ活動を積極的



VR体験の様子